

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 2 2 8

2 0 1 2 年

9 ~ 1 0 月号

行 事 案 内

9月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 9月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 さすがの暑さも少しは収まっている
でしょうか。冬の鳥にはまだ早い
ですが、常連さんと残っている夏鳥
をじっくり探して名残りを惜しみ
ましょう。

解 散 正午
担 当 桑森

ミ、ホオジロ、モズ、バン等を、黄
金色又は刈り入れの済んだ稲田で
サギ類を、手賀沼水辺でカモ、カモ
メ類を、上空を飛翔するタカ類を探
してみよう。野鳥の他に蝶、蜻蛉、
バッタ、蝉等の昆虫、蛙、樹木の実、
秋の野の花、水生植物の花(ヒメガ
マ、マコモ等)も観察できます。

解 散 11時30分
担 当 鈴木静治 (Tel: 04-7169-4191)
参加希望の方はご連絡ください。

10月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 10月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 秋の快適な季節です、カモたちが
戻って来ているでしょう。常連に
なったミサゴも期待できます、じ
っくり探しましょう。

解 散 正午
担 当 松田

秋ヶ瀬公園探鳥会

期 日 9月30日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 秋ヶ瀬公園は、さいたま市の西部、
荒川河川敷に広がっており、林や草
地、湿地帯など多彩な自然がある公
園です。広い林の中には野鳥が多く
探鳥地としても有名スポットです
が、会としては久しぶりの探鳥会と
なります。9月も中旬になると秋の
渡りのシーズンです。爽やかな秋風
の中で林間を歩き、コサメビタキ、
エゾビタキ、ツツドリ、キビタキや
オオルリの若鳥との出会いが楽し
みです。上空にはオオタカなどの猛
禽類にも期待しましょう。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人
1,500円を運転者にお渡しください。
申し込みの際、自家用車を提供
可能な方はその旨ご連絡ください。
持 物 観察用具、雨具、昼食、虫除けスプ

9月、10月ピオトープ調査

期 日 9月6日(木) 雨天延期
10月4日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 9月、10月は野鳥が多く(昨年9
月18種、10月19種)なります。
葛、葦、ヒメガマ、セイタカアワダ
チソウの茂るピオトープでカワセ

レーもあると良いかも知れません。
申 込 桑森亮まで
Tel/Fax : 04-7182-3149

担 当 猪爪、桑森

葛西臨海公園探鳥会

期 日 10月21日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時
案 内 春の定番となった感のある葛西臨海公園を、秋にも訪れてみます。水辺の鳥、山野の鳥の両方が期待できます。東京の満潮 9:50 干潮 14:44 (小潮)
持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
交 通 我孫子駅午前 8:07 発千代田線(代々木上原行)で新松戸乗換え、8:25 発武蔵野線(東京行)で葛西臨海公園駅へ 9:00 着。途中で合流の方は駅名をお知らせください。
申 込 松田幸保まで
Tel: 04-7182-8307
担 当 金子、松田

手賀沼クリーン作戦

期 日 10月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午後1時30分
案 内 手賀沼周辺のゴミを集めます。環境保全活動の一環として柏市沼南側の探鳥ポイントを中心に行います。多数の参加をお願い致します。終了は午後3時前後の予定です。(軍手、ゴミ袋は事務局で用意いたします。火ばさみのある方はお持ちください。)
担 当 事務局

9月役員会案内

日 時 9月9日(日) 13:30~16:00
場 所 アピスタ 第2学習室
議 題 J B F 2012 出展内容について(各リーダーから報告) 会報 229号掲載記事について 民が民を支える仕組みづくり 構築モデル事業について 報告事項 その他 議題のある場合は野口隆までご連絡ください)

行 事 報 告

6月手賀沼探鳥会

調査日時 2012.6.10 9:00~12:00
晴 弱風 25

いつもの定例会とコースを変え、この季節ならではのタマシギ、ヨシゴイを重点的に観察しました。オオヨシキリの囀り、バンやカイツブリの幼鳥も見られ、手賀沼の初夏を味わえました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、タマシギ、アジサシ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、

オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 29種 番外 コジュケイ、カワラバト

<探鳥班>村松寿夫、大久保陸夫、肥後邦彦、佐々木隆、榎本右、野口隆也、飯島博、間野吉幸、金子雅幸、谷山晴男、船津登、松田幸保、北原建郎、田中恒雄、小玉文夫、六角昭男、相良直己、田丸喜昭、田丸メリールイス、桑森亮、石渡成紀、橋本悦子、原礼子、佐藤弘美、類地佑子、猪爪敏夫、鈴木静治、成田奈穂、成田遥、成田菜(担当)小林寿美子、野口紀子 参加者 32名

<カウント班>木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2012.6.10 9:05~ 11:50

晴 無風 22

調査種	上 沼	下 沼	合 計
カイツブリ	7	1	8
カワウ	24	30	54
タビ	1	0	1
アオサギ	0	2	2
コブハクチョウ	9	16	25
カルガモ	6	7	13
キンクロハシロ	0	1	1
オオバン	0	3	3
マサキ	6	0	6
アジサシ	0	5	5
合 計	53	65	118

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子、金子雅幸

調査日時 2012.6.7 9:30~ 11:30

晴れ、曇り 中位の風 23-25

沼周辺の森、水田、ピオトープ共に草木の緑が鮮やかで、野鳥は観察し難い。夏鳥はオオヨシキリとツバメのみ。トビが魚を足で持ち飛翔、ゴイサギ幼鳥が稲の間を背を低くし獲物を狙う、コブハクチョウの親子が水田で採食する様子を観察。観察した野鳥の種類、数は例年より少ない。

<認めた鳥> カワウ、ゴイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、トビ、カワセミ、ツバメ、モズ、オオヨシキリ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 15種

7月手賀沼探鳥会

調査日時 2012.7.8 9:00~ 12:00

小雨 弱風 21

小雨が降る中、今回は中止かなと思っていましたが、なんと18名の熱心な会員(鳥キチ)が集まり、探鳥班、カウント班に分かれて定例探鳥会が行われました。しかし、雨の影響が鳥の出方も湿ったものでした。

番外編として、どう迷ったかウナギが道路上に出てきました。もう少しで車に轢かれるところを会員の懸命の努力で無事手賀沼にかえすことができました。そのウナギは後ほど

タウナギとのことでしたが、とにかく蒲焼にされずヨカッタ、ヨカッタ。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、オオバン、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 24種

番外 カワラバト、アヒル

<探鳥班> 野口隆也、佐々木隆、間野吉幸、松本勝英、渡邊成、松田幸保、野口紀子、田丸喜昭、蒲田知子、藤原玉規、榎本右、小林秀美、猪爪敏夫、六角昭男(担当)北原建郎 参加者 15名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2012.7.8 9:10~ 11:50

晴 東風 微風 26

調査種	上 沼	下 沼	合 計
カイツブリ	6	4	10
カワウ	16	35	51
アマサギ	0	1	1
タビ	1	0	1
チュウサギ	7	4	11
コサギ	0	2	2
アオサギ	0	2	2
コブハクチョウ	18	13	31
カルガモ	1	2	3
合 計	49	63	112

<ピオトープ班> 谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子、池田日出男

調査日時 2012.7.5 9:30~ 11:15

曇り~晴れ 無風 28-33

無風のため沼面は静か。沼面を子供の乗る遊覧船が通る。沼の野鳥少ない。

ピオトープの中は草が繁茂し野鳥を観察しにくい。それでもオオヨシキリ、セッカの囀り。遠くホトトギスの囀り聞こえる。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、カルガモ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、スズメ、ホオジロ 計 14種

アカゲラの出迎え

船津 登

5月26日(土)天気は晴れ、暑くはなくちょうどよい陽気です。7時に進和観光バスで我孫子北口を出発しました。参加者は、22名うち女性8名です。バスは、渋滞もなく途中東北道佐野SAで休憩を取り一路日光へ向かいました。いろは坂に入ると周りの新緑が美しく目に入ってきました。中禅寺湖畔では、桜が咲いており、またツツジが赤、紫ときれいに咲いていました。10時30分ごろに最初の探鳥地である戦場ヶ原赤沼に着きました。

林に入るとアカゲラが、私達を出迎えてくれました。アカゲラは、枯れ木に止まり餌を取っています。そして、巣に戻りました。巣の入り口は、きれいな丸で、入口の下方が削がれ木の地肌が見えていました。木の上で、頬に黒斑のないニューナイスズメが鳴いています、また、ヒガラ、ベレー帽のコガラがちょちょこと動き回っています。約1時間歩いた所で折り返し、帰り道アカゲラが数羽いました。中には、頭の赤がきれいなアカゲラも見られました。

赤沼から三本松園地に移動し、昼食をとりました。上空をワシタカ類が飛んでいます。皆が、何鳥か観察しています。間野さんが、ガイドブックを見て、ハチクマですと言っていました。昼食後、開拓農園へオオジシギを探しに行きました。農園でオオジシギが出るのを待っていましたが見られず、ノビタキのオス・メスが見られました。三本松駐車場の満開の桜の木で、キセキレイが美しい声で鳴いていました。

光徳牧場に場所を移しました。牧場に着くと、皆がソフトクリームを食べに行きました。ソフトクリームは、濃厚でとても美味しかったです。牧場では、ホルスタイン乳牛が、草を食べていました。牧場柵のそばの木の根元でゴジュウカラが歩いていました。黒い過眼線、青灰色の羽がきれいでした。林を抜け川のほとりに着き、そこからは、男体山がよく見られました。水たまりには、マガモのオ

ス・メスがあり、オスの頭の色が、太陽の光を受けて緑、青ときれいに輝いていました。

光徳牧場から湯元へのバスの中から雪の残る山が見え、湯元ビジターセンターに着きました。ビジターセンターを見学後、探鳥をしながら宿へ向かいました。周りでは、ウグイスがさかんに鳴いており、キバシリがいたということで探しましたが、私には見られませんでした。宿の休暇村日光湯元に着きました。夕食が17時30分からで時間があるので、女性4名、間野さんと湯ノ湖畔に探鳥に行きました。ウグイスが近くで鳴いており、立ち止まり探していると、木の上に出てきて、ホーホケキョと鳴いてくれました。鳴いている姿をはっきり見るのは、初めてですので感激しました。

宿は、部屋から白樺越しに湯ノ湖が見える眺めのよい所でした。部屋では、幹事の松本さんが、鳥の鳴き声を聞いています、明日の探鳥会の予習とのことでした。硫黄泉の風呂に入り、夕食を食べました。夕食の時、女性の露天風呂に、ゴジュウカラが現れたとの話がありました。夕食後、幹事の部屋で酒を飲みながら鳥談議をし、21時ごろに眠りました。

翌日、天気は晴れ、すがすがしい朝です。朝食前、6時30分から早朝の探鳥会です。幹事の木村さんが、イワツバメの団地があると宿の近くのスキー場のロッジに行きました。ロッジの軒下には、いくつものイワツバメの巣があり、たくさんのイワツバメが飛んでいました。スキー場の方へ行くと、イワツバメが、地面にたくさんおり、泥を取っています。また、別の所には、枯れ草を取っているイワツバメもいて、巣作りの最中で、大忙しです。ロッジを後にして、湯ノ湖畔に向い、湖の端で温泉が湧き出て、硫黄の臭いがしていました。残雪の山と空が、湖面に映りとてもきれいでした。湖畔を歩いていると、松本さんが、キビタキがいると、見ると木に胸が黄、喉が橙、頭・上面が黒の美しい鳥がいました。宿に戻る時に、キビタキ、エゾムシクイを確認できました。朝食は、8時15分からバイキングで、食べ過ぎました。

9時ごろに宿を出発し、コマドリの声を聞くため、刈込湖入口から山道を登りました。きれいな鳥の声が聞こえてきました。これが

コマドリの声で、カラムツの木の方から聞こえるので、探しましたが見当たりません。木の上で、上面が褐色、胸が橙色のルリビタキの幼鳥が見られました。山道を戻り途中、皆が木を見ています、木の中ごろに木の皮がめくれた4本の爪の跡があり、木があまり太くないことから、子熊が登った跡かかもしれないと話していました。

湯滝のバス停でバスを降り、湯滝を滝壺の近くで見る、滝は水量が多く迫力がありました。滝見台から戦場ヶ原へ向け渓流を下る、滝壺から少し下った渓流の中にミソサザイ、カワガラス、奥にオシドリのオス・メスがいました。オシドリを自然の中で見るのは初めてで、感激しました。さらに渓流を下ると、ミソサザイが川岸を動きまわり、流木の上で赤い口を見せて鳴いています。木道を歩きながら、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ノビタキ、アオジ等が見られました。戦場ヶ原では、ノビタキが度々見られ、木村さんが、フィールドスコープでノビタキをハイキングをしている人に見せ、見た人は、きれい、かわいいと感嘆の声を上げていました。戦場ヶ原では、ノスリも見られました。赤沼に着くころには、黒い雲が出てきました。

天気が悪くなってきましたので、日光植物園に行き、昼食をとることになりました。いろは坂を下りる途中で、雨が降り始め、植物園に着いた時には、雨が本格的に降ってきましたので、バスの中で、昼食のおにぎりを食べました。食後、傘をさして、園内の散策に行きましたが、雷が鳴り始め、大きな木がたくさんあることから、あわててバスに戻りました。植物園を出て帰路につきました。栃木県を過ぎたころには、雨も降っておらず晴れていました。帰りのバスの中で、鳥合わせを行い、2日間で60種の鳥が確認されました。私が確認したのは、36種でした。17時40分ごろ、我孫子北口に無事着きました。

私は、泊まりの探鳥会に初めて参加し、初めて確認した鳥も7種おり、また、探鳥には、鳥の鳴き声を分かることが大切であることを学び、大変満足しております。幹事の木村さん、松本さん、同行のみなさんありがとうございました。

【幹事報告】

久々の奥日光探鳥会バス旅行、我孫子駅

午前7時出発 昼前には戦場ヶ原入口の赤沼茶屋着、木道をちょっと散策後、三本松公園にて昼食、光徳牧場に寄り探鳥し、少し早めに宿泊先(休暇村日光湯元)入りし、自由探鳥。“朝探”は湯ノ湖周辺散策、朝食後コマドリ期待の刈込湖山道へ、声だけはたっぷり堪能、湯滝でバスは先行させ、赤沼まで戦場ヶ原木道をゆっくり探鳥、終盤ごろ雲行きが怪しくなり、急きょ下山、昼食は日光植物公園内でバス車中、帰路18時我孫子着 <認めた鳥> カイツブリ、カワウ、アオサギ、オシドリ、マガモ、カルガモ、ミサゴ、ハチクマ、トビ、ノスリ、オオジシギ、キジバト、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、フクロウ、ヨタカ、アマツバメ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、コマドリ、ルリビタキ、ノビタキ、アカハラ、ウグイス、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、クイタダキ、キビタキ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、キバシリ、ホオジロ、ノジコ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ニュウナイスズメ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計60種

<参加者>原礼子、橋本悦子、天野睦子、古出洋子、川越久枝、野口洋子、山住良子、松下勝子、間野吉幸、桑森亮、大久保陸夫、染谷迪夫、古賀嗣朗、野口隆也、中根忠、小笹彰、小玉文夫、村上稔、中野久夫、船津登(幹事)木村稔、松本勝英 計22名

笹川・印旛沼探鳥会

6月17日

前日の夕方時点で17日午前中から雨天予報のため中止と決定しました。印旛沼ではヨシゴイ、サンカノゴイ、笹川ではオオセッカ、コジュリン、コヨシキリなどが期待されましたが、残念です。

(幹事)北原建郎、佐々木隆

富士山奥庭・朝霧高原探鳥会

6月30日、7月1日

奥庭8人衆、勢揃い！

小笹 彰

この4月に「野鳥を守る会」に入会させていただき、今度が2度目の宿泊探鳥会参加である。最初の奥日光探鳥会では、新入会員を温かく迎え入れてくれるアットホームな雰囲気ですっかり浸り、大変楽しい時を過ごさせて頂いた。今回は男性ばかり14人という前回とはまた違った気の置けない探鳥会を経験させて頂いた。

中央高速河口湖 IC・富士五湖道路・スバルラインを経て奥庭駐車場に着いたのは予定よりも早い時間だった。途中西桂町付近では左側に雄大な富士山の全貌が見えるはずであったが、今日はあいにく霧がかかり裾野付近がわずかに見えるだけである。奥庭駐車場で奥庭荘付近を探鳥・写真撮影する4人と別れ、バスは五合目の駐車場まで進んだ。明日の山開きを前に、多くの登山客、観光客でごった返していた。われわれは、駐車場横の御中道を歩き始めた。早速ルリビタキの鳴き声がする。「ルリビタキ」と自己紹介していますよと言われると、そうも聞こえる。解りやすい「聞きなし」である。姿も見せてくれた。キクイタダキの音がするが、こちらは姿を見つけにくい。メボソムシクイが、「銭とり、銭とり」と囀る。「ムシクイ類は、みな同じような姿・形なのでこの声で判別するように」と教わったことがある。上ばかり気にしていると、幹事さんが地面を指差し、そこに生えるフジハタザオ、マイヅルソウ、コケモモなどの高山植物を教えてくれた。(夕飯時に宿の主人から差し入れのあったコケモモのワインは美味しかった。) カラマツの実(球果)は小粒のバラの花そっくりで、これを使ってアクセサリーを作るといふ。ミヤマハンノキ、オンタデ、ダケカンバ、シラビソなどを覚える。林が途切れると、赤茶けた溶岩石が多くなり、ガスが立ち込めてくる。この辺りが森林限界なのだろうか。松の天辺に鳥影が見えるが、逆光とガスで黒くて、同定できない。メボソムシクイか、カヤクグリか、あるいはピンズイかと話していると、羽根を

扇開きにして舞い降り、途中でヒバリのようにホバリングを始めた。優雅な飛翔スタイルのピンズイだった。今度はキセキレイが止まる。「キセキレイって、こんな高度まで上がってくるんだ」という声が聞こえる。メボソムシクイが鳴いている。カヤクグリの囀りも聞こえる。

「雲切れて這松に鳴く茅潜」(砂田たけ子)
ダケカンバの、自然と格闘したようなねじれた様々な樹形をみながら、なだらかな山道を下る。奥庭荘に着くと先陣の4人が満足した顔をしている。聞くと奥庭8人衆(ヒガラ、コガラ、ルリビタキ、ウソ、メボソムシクイ、カヤクグリ、キクイタダキ、ホシガラス)が、出揃ったと言う。早速三脚を伸ばし仲間に入れてもらう。程なくルリビタキが現れる。キクイタダキやヒガラムも水浴びに来る。このあたりは富士山の溶岩流の上でできた森林なので、水はけが良すぎて水がたまらない。野鳥にとって、ここが数少ない水を確保できる場所なのである。

夕食時、米海兵隊の垂直離着陸型輸送機「オスプレイ」の日本語訳は「ミサゴ」であるが、ミサゴは垂直には飛ばない、なぜこの名前がついたのだろうか？と話題になった。さすが鳥好きの集まりである。暗くなり寒くなってきたので、ガラス戸を閉めようという時に、ホシガラスが3羽現れ、皆さん興奮する。騒ぎが収まった頃から、宿の主人のセミナーが始まる。富士山は江戸時代から霊山と崇められ、「遥拝」されていたが、近年は「登拝」されている。世界自然遺産を目指していたが適格性に欠けることがわかり、世界文化遺産登録に切り替え、来年には指定されるであろうというような話が続いた。明日は早いということで、懇親会もほどほどで寝る事にしたが、窓を開けると、暗闇のなかヨタカの声が遠くで聞こえた。

翌朝4時に起き出し三脚を立て陣取る。下から先陣をと思って上がってきたカメラマンが既に多くの三脚が立ち並んでいるのに吃驚する。まだ夜が明けきらない頃の初陣はウソである。シャッターが遅い。ルリビタキやキクイタダキやメボソムシクイが洗面に来る。我々の朝食前には、もう奥庭8人衆が出揃った。やはり圧巻はホシガラスである。前触れもなくスーッと現れ、水を飲んで

は立ち去る。なかなかの役者である。

今日は朝霧高原の探鳥を予定しているが、天候が覚束ない。道の駅に着く頃本格的に降り出す。探鳥できないほどではなく、農道を歩き出す。遠くでカッコウやホトトギスが鳴く。オオヨシキリやコヨシキリが視認できる場所で囀る。ホオアカ、ノビタキも出る。これで晴れていれば、夏の高原の鳥を満喫できるのに残念である。雨が強くなってきたので途中から引き返し、バスに戻る。予定を変更して談合坂 SA で昼食をとり、帰路に着いた。

探鳥会は、ただ鳥を観察し名前を覚えるだけでなく、樹木や野草の名前を知り、その生育環境を学ぶと、興味をさらに膨らませてくれる。今回も充実したツアーだった。幹事の鈴木さん、六角さん、大変お世話になりました。ご一緒させていただいた皆さん、本当に有難うございました。

ところでみなさん、オスプレイがミサゴだというのをご存知でしたか？知らなかったのは私だけでしょうか。探鳥会でまたひとつ賢くなりました。

[幹事報告]

6/30:御中道探鳥組 10 名と奥庭探鳥(奥庭荘周辺)組 4 名に分かれ野鳥を観察しました。季節は今年遅れていて、例年今頃咲いているハクサンシャクナゲ、コケモモ等の花、ミネヤナギの綿毛は見られなく、フジハタザオの花、一部マイヅルソウ、ベニバナイチヤクソウが咲く程度であった。一方、鳥は森林～高山の鳥ルリビタキ、キクイタダキ、ビンズイ、カヤクグリ、ヒガラ、メボソムシクイ、ホシガラス、ウソ等多種の鳥をよく観察でき、夜宿の近くでヨタカの鳴き声を聴くことが出来ました。

7/1:奥庭は曇りでご来光も5分位拝むことが出来、早朝の探鳥も出来ました。朝霧高原に着くと、あいにくの雨、雨具をつけて1時間半草原を探鳥したところ、ホオアカ、ホオジロ、セッカ、ノビタキ、オオヨシキリ、コヨシキリ、ウグイス等を観察出来、ホトトギス、カッコウの声もきくことが出来ました。ここでは我孫子で5月に咲く花ウツギ、イボタノキ、ノバラ、ヤマオダマキ、スイカズラの花が咲き、ヤマグワの実もなっていました。雨がひどくなってきましたので、早めに

探鳥を切り上げ帰途につき、14時過ぎには我孫子に着きました。

<認めた鳥> カワウ、アオサギ、トビ、キジ、キジバト、カッコウ、ホトトギス、ヨタカ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、カヤクグリ、ルリビタキ、ノビタキ、ウグイス、コヨシキリ、オオヨシキリ、メボソムシクイ、キクイタダキ、セッカ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、ホオアカ、アオジ、オオジュリン、ウソ、スズメ、ホシガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 38 種

<参加者> 間野吉幸、金子雅幸、野口隆也、小笹彰、池田日出男、渡邊成、中野久夫、船津登、染谷迪夫、大久保陸夫、松本勝英、松田幸保(幹事)六角昭男、鈴木静治 計 14 名

映 写 会

7月 28日

今年度の映写会は、我孫子北近隣センター並木本館で開催され、10名の方の398点の写真に加え、恒例の松田さんのビデオの発表があり、素晴らしい秀作の連続に、参加した会員全員が堪能しました。

また、最近話題となったカナダヅル(土浦)、ソデグロヅル、シジュウカラガン(本埜村)、サンカノゴイ、オガワコマドリ(印旛沼)に関しては複数の会員の皆様の競演となりました。

管理の行き届いた新しい綺麗な施設での開催で大変心地よい映写会となりました。

<発表者と内容、上映順> 敬称略

古賀嗣朗 大堀川のカワセミの生態(カワセミのペリットのいろいろや珍しい成鳥 2羽の戦いの一部始終など)(40枚)

井上正 オーストラリア パース周辺の鳥たち(クビワツクシガモ、アジアヘビウ、3種のアジサシなど)、逗子でのサンコウチヨウなど(計40枚)

柴本三弘 都内、手賀沼などでの猛禽類6種勢揃い、裏磐梯のアカショウビン(爪なし君)など(計38枚)

池田日出男 浅間橋、岡発戸の鳥たち、銚

子でのカモメ(ホイグリンカモメなど) トルコ旅行での鳥たち(イエスズメ、シュバシコウとその世界分布など)(計 40 枚)

田中功 舳倉島の小鳥たち(シマアオジ、シマノジコ、シマゴマなど 13 種)、日本百名山踏破を目指して 96 番平ヶ岳登頂など(計 40 枚)

野口隆也 各地探鳥会で出会った鳥たち(奥日光のアカゲラ、大磯のアオバトなど)、富士奥庭の小鳥たちヒガラ、コガラ、キクイタダキなど 7 種(計 40 枚)

吉田隆行 手賀沼周辺の鳥たち(ダイサギの狩り、大井新田のタマシギ、ツバメ空中給餌など)、手賀沼周辺のトンボ類 9 種、クモ類など(計 40 枚)

浅野利幸 北海道(阿寒、標津、天売島)の鳥たち(エゾライチョウ、エゾフクロウ、ケイマフリ、ウミガラスなど)、沖縄の鳥たち(ノグチゲラなど)(計 40 枚)

大久保陸夫 甘田のハイイロチュウヒとコミミズク、舳倉島の小鳥たち(ノゴマ、シロハラホオジロ、コホオアカ、ムギマキなど)(計 40 枚)

中野久夫 カナディアン・ロッキー・クルーズで観た鳥たち(カナダガン、クロワカモメ、コマツグミなど) 動物たち(シマリス、ジリス、ナキウサギなど)(計 40 枚)

松田幸保(ビデオ映像)おもしろ捕食風景クワツラヘラサギ、ソリハシセイタカシギ(谷津干潟)、アカガシラソリハシセイタカシギ(パース近郊)、ダイサギの空中捕食(手賀沼)、コサギ(葛西臨海公園)、レンカク(西の洲干拓)、ヨシゴイ蓮の葉越しの捕食、岩場のヨシゴイ(越谷レイクタウン)、カイツブリとパンの水面羽蟻の捕食。

<参加者>浅野利幸、船津登、池田日出男、井上正、金子雅幸、古賀嗣朗、桑森亮、間野吉幸、松田幸保、中野久夫、大久保陸夫、六角昭男、佐々木隆、柴本三弘、染谷迪夫、田中功、田中恒雄、和田朋之、渡邊成、吉田隆行(幹事)野口隆也、相良直己 計 22 名

納 涼 会

7 月 28 日

いよいよ各地で梅雨も明け、猛暑が続いて

います。全国で熱中症で倒れる人たちが話題になる中で、暑気払いに本年度も納涼会が開催されました。

ロンドン・オリンピックが始まりテレビ観戦の合間に 25 名の会員が恒例の「庄や」我孫子北口店に集まりました。間野会長の開宴のご挨拶、乾杯に始まり、本日の映写会の話題や様々な鳥談義等に花を咲かせ、和気藹藹とあっという間の大変楽しい 2 時間余を過ごしました。今回の参加者の中で、めでたく傘寿(80 歳)を迎えられるとのごことで大久保さんに中締めのご挨拶をいただき、盛会のうちに終了しました。多くの皆様はナデシコの第 2 戦スウェーデン戦のテレビ観戦に向けて家路を急がれたことと思います。なお、会場が大変手狭で、皆様に窮屈な状況になりましたことをお詫びいたします。

<参加者>榎本右、船津登、飯島博、池田日出男、井上正、金子雅幸、木村稔、北原建郎、小玉文夫、桑森亮、間野吉幸、松田幸保、中野久夫、西嶋昭生、大久保陸夫、六角昭男、柴本三弘、染谷迪夫、鈴木静治、田丸喜昭、田中功、和田朋之、吉田隆行(幹事)野口隆也、相良直己 計 25 名

ホタルの夕べ

8 月 5 日

認められたヘイケボタルの数 252 頭!

今日は、ややむして、ホタルの観賞にはよい日であった。これで 5 年続けて 3 桁のホタルが観察されたが、これは我孫子市手賀沼課、我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージアムの会、あびこ谷津学校友の会の方々が、整備・保全を手がけてくれている賜物、と感謝している。田んぼの青々とした稲の上、木立の間、草むらのかげ、湿地、ヨシ原をゆっくりと舞う点滅する幻想的な青い光は、楽しいひと時を過ごさせてくれる。何時までもこの光景が続くように祈りたい。「谷津に、谷津に感謝!」です。

なお、この行事は、我孫子野鳥を守る会と我孫子市鳥の博物館友の会の共催で行われました。

<参加者>弘實和昭、弘實さと子、金子雅幸、金子智恵子、武藤誠、武藤藍子、北村章子、

鈴木麻衣子、鈴木蒼梨、本橋一政、稲澤君夫、松田幸保、安野昌彦、安野みね子、安野直樹、安野はづき、一颯、野坂由香里、野坂凜、野坂朋葉、新岡淳司、新岡未穂、新岡鷹翔、新岡桃音(幹事)木村稔、染谷迪夫 計 26名

7月役員会報告

日時 7月8日(日) 13:30~16:00

場所 水の館 3階研修室

1. JBF2012 出展について
11月3日(土)~4日(日)に行われるJBFの出展項目と各担当を決定しました。
* 次回役員会(9/9)までに各々内容を検討する。
2. 役員の業務分担について
資料に基づき検討し、役員の業務分担を決定しました。
3. 事務局体制について
事務局からの提案に基づき検討し、了承されました。
4. 会報 228号掲載予定記事
資料に基づき報告、了承されました。
5. 次の一步検討委員会(仮称)中間報告

事務局で一定期間検討のうえ、役員会に諮り、役員会報告として掲載します。

6. 平成 24 年度第一四半期会計報告資料に基づき報告、了承されました。
7. 市民活動フェア 2012 参加について
担当が田中恒(責任者)、蒲田に決定。
8. 報告事項
 - ・2012 手賀沼流域フォーラム(親子探鳥会の企画開催)
 - ・美手連総会(副会長に間野留任、会計に野口隆新任)
9. その他
 - ・探鳥マナーについて
トラブルの実例を議論し、今後の探鳥マナーとして下記の点を出席役員全員で再確認した。
野鳥にストレスを与えない
地域住民に迷惑を掛けない
人への思いやりを忘れない
* 定例探鳥会での自転車通行に対する配慮についても検討。
 - ・40周年記念パーティ収支報告(収支は黒字、余剰金は会に寄付)を了承。
 - ・40周年記念講演を文字化、配布。

以上

鳥 だ よ り

- 05.21 [泉] サバ(1) 中枝より飛び立ち林へ 志賀鉄雄
- 05.21 [布瀬] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 05.21 [布瀬] 牝(2) 飛翔 志賀鉄雄
- 05.22 [若白毛] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 05.22 [若白毛] サバ(1) 葦の中より飛び立ち林へ 志賀鉄雄
- 05.23 [泉] サコヲヨウ(1) 林で鳴きながら移動 志賀鉄雄
- 05.23 [泉] サバ(1) 樹上より飛び立ち 志賀鉄雄
- 05.23 [泉] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 05.23 [北新田] 牝(1) 飛翔 中野久夫
- 05.23 [小堀] ヲカノ氷ウ(1) 停飛して獲物を狙うが、カラスに絡まれる 鈴木静治

- 05.23 [中峠] 牝(1) ハシプトガラスに上空で絡まれる 鈴木静治
- 05.23 [藤ヶ谷] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 05.23 [古戸] 牝(1) ハシボソガラスに上空で絡まれる 鈴木静治
- 05.24 [泉] 牝(1) 森の大木の上で囀り 鈴木静治
- 05.24 [泉] マガラ(4) 森の中で囀り 鈴木静治
- 05.24 [泉] サコヲヨウ(1) 森の中で囀る 鈴木静治
- 05.24 [泉] サバ(1) 谷津田の上を低空で滑空 鈴木静治
- 05.24 [手賀新田] 牝(1) 田の電柱にとまり羽繕い 鈴木静治

- 05.24 [布瀬] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
05.24 [布瀬] サバ(1) 飛翔 志賀鉄雄
05.24 [柳戸] 牝(1) 森の中で囀る 鈴木静治
05.25 [千間橋] ヲウゲンボウ(1) 鉄塔中腹にとまる 鈴木静治
05.25 [布佐] ツ(1) 森の木にとまり警戒する 鈴木静治
05.25 [手賀新田] ヲコイ(3) 川岸より飛び中州の蒲にとまる 鈴木静治
05.25 [布佐平和台] カコウ(1) 住宅地で鳴く 鈴木静治
05.27 [千間橋] ヲウゲンボウ(1) 水田で獲物を捕らえ蛙で食べる 鈴木静治
05.27 [中峠] ヲコイ(1) 葦の若葉で囀る 鈴木静治
05.27 [中峠] ヒ(2) 電柱にとまり、時々田に舞い降りる 鈴木静治
05.28 [泉] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
05.28 [泉] サバ(1) 林の中へ 志賀鉄雄
05.28 [中峠] ヲコイ(3) 縄張り争いで葦の上を低空で飛び回る 鈴木静治
05.28 [若白毛] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
05.28 [鷺野谷] サバ(1) 林のほうより電柱に止まる 志賀鉄雄
05.28 [鷺野谷] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
05.29 [北新田] 材カ(1) 若鳥、河川敷柳上 中野久夫
05.30 [北新田] ヒ(1) 電柱上 中野久夫
05.30 [千間橋] ヲウゲンボウ(1) 夕暮れ時停飛して獲物を狙う 鈴木静治
05.30 [布瀬] ハバサ(1) 川岸の鉄塔上にとまり、後飛び去る 鈴木静治
05.30 [布瀬新田] カコウ(1) 15:34、布佐方面から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
05.31 [北新田] カコウ(2) 越流堤横柳上 中野久夫
05.31 [布瀬] ハバサ(1) 川岸の鉄塔上にとまる 鈴木静治
06.01 [北新田] ヒ(1) 電柱上 中野久夫
06.01 [北新田] ヲコイ(1) 越流堤横ヨシ原で囀り 中野久夫
06.02 [浦部] 牝(1) 森の繁みで鳴く 鈴木静治
06.02 [布佐平和台] ヲウゲンボウ(1) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
06.05 [泉] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
06.05 [泉] ヤガラ(1) 森の大木の頂にとまる 鈴木静治
06.05 [片山] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
06.05 [片山新田] ヒ(1) 沼上空を飛ぶ 鈴木静治
06.05 [布瀬] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
06.05 [布瀬] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
06.06 [泉] サバ(1) 木に止まる 志賀鉄雄
06.06 [泉] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
06.06 [片山] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
06.06 [中原] ツ(1) 15:45、東南方向から鳴き声 飯泉仁
06.07 [上沼田] ヲウゲンボウ(1) 水田上空を通過 鈴木静治
06.07 [岡発戸新田] ヒ(1) 上空高く飛ぶ 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸・蒲田知子・金子雅幸
06.08 [つくし野] 牝(1) 鳴き声 中野久夫
06.08 [手賀] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
06.08 [布瀬] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
06.08 [布瀬] 牝(2) 囀り 志賀鉄雄
06.08 [布瀬] サバ(1) 電柱上に止まる 志賀鉄雄
06.10 [泉] サコヲヲウ(2) 林より稲田上を向かい側の林の中へ 志賀鉄雄
06.10 [泉] サバ(1) 飛翔 林へ 志賀鉄雄
06.10 [岡発戸新田] ヒ(1) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
06.10 [片山] 牝(1) 鳴き声 志賀鉄雄
06.10 [北新田] カコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
06.10 [布瀬] サコヲヲウ(1) 囀り 志賀鉄雄
06.11 [北新田] カコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
06.11 [布佐平和台] 牝(1) 早朝鳴き声が聞こえる 鈴木静治
06.12 [江蔵地] ヲウゲンボウ(1) 河原上を飛ぶ 鈴木静治
06.12 [中峠] ヒ(2) 水田の中の電柱にとまる 鈴木静治
06.12 [布佐] ツ(1) 森の中で鳴く、枝にとまる 鈴木静治
06.14 [大津ヶ丘] 牝(1) 鳴き声 志賀洋子
06.14 [柏2丁目] ヲウゲンボウ(3) 14:30、6

- 階建てビルの排気口に営巣し、孵化した幼鳥
3羽が中で羽ばたいていた 飯泉久美子
- 06.15 [泉] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.15 [泉] サコヲヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.15 [片山] サバ(1) 飛び立ち林で鳴く
志賀鉄雄
- 06.15 [北新田] カコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 06.16 [柏2丁目] ヲウゲンボウ(3) 8:00、曇
りのち小雨、商業施設の営巣場所から巣立っ
た幼鳥3羽が周囲のビルに移動 飯泉仁
- 06.16 [藤ヶ谷] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 06.16 [藤ヶ谷] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.17 [布瀬新田] サバ(1) 13:21、県道沿
いの林縁を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 06.19 [泉] サコヲヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.19 [大津ヶ丘] 牝(1) 鳴き声
志賀洋子
- 06.19 [中峠] 牝(2) 水田の電柱にとまる
鈴木静治
- 06.19 [藤ヶ谷] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 06.20 [柏の葉公園] ヲウゲンボウ(3) 15:17、
柏の葉がアムの屋根の上空を滑空 飯泉仁
- 06.21 [大井] 牝(2) 声、(姿) 飛翔
志賀洋子
- 06.21 [下沼田] ヲウゲンボウ(1) 鉄塔側面に
とまる 鈴木静治
- 06.21 [布瀬] サコヲヨウ(1) 鳴きながら移動
志賀鉄雄
- 06.21 [布瀬] カコウ(1) 樹上で声
志賀鉄雄
- 06.21 [布瀬] 牝(2) 囀り 志賀鉄雄
- 06.21 [布瀬] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.21 [布瀬新田] ハブサ(1) 鉄塔上で羽繕
い 鈴木静治
- 06.22 [泉] サコヲヨウ(1) 頭上、木の枝にと
まる 志賀鉄雄
- 06.22 [布瀬] サバ(1) 電柱に止まる
志賀鉄雄
- 06.23 [北新田] カコウ(2) 河川敷樹上
中野久夫
- 06.23 [布瀬] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 06.23 [布瀬] サコヲヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.23 [布瀬] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.23 [布瀬新田] ハブサ(1) 鉄塔上にとま
り、時に急降下し獲物を狙う 鈴木静治
- 06.24 [泉] 牝(1) 声、姿 志賀鉄雄
- 06.24 [泉] サコヲヨウ(1) 鳴きながら移動
志賀鉄雄
- 06.24 [北新田] 牝(1) 電柱から飛立
中野久夫
- 06.24 [北新田] カコウ(1) 河川敷樹上
中野久夫
- 06.24 [北新田] 牝(1) 河川敷樹上で
鳴き声 中野久夫
- 06.24 [布佐平和台] 牝(1) 鳴き声が
聞こえる 鈴木静治
- 06.24 [古戸] ヲウゲンボウ(2) 低い葦の先で囀る
鈴木静治
- 06.25 [泉] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 06.25 [泉] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.25 [浅間前] ヲウゲンボウ(1) 水田上を停
飛しながら獲物を探す 鈴木静治
- 06.27 [手賀] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 06.27 [布瀬] サコヲヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 06.27 [布瀬] 牝(2) 囀り 志賀鉄雄
- 06.28 [布瀬] ハブサ(1) 鉄塔上部にとまり
時々飛びおり獲物を狙う 鈴木静治
- 06.29 [東中新宿] ツ(1) 10:30、自宅近く
の上空を鳴きながら旋回 飯泉久美子
- 06.30 [泉] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 07.01 [金山] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 07.02 [北新田] カコウ(1) 河川敷樹上
中野久夫
- 07.03 [相島] 牝(1) 水田近くの木の
繁みで鳴く 鈴木静治
- 07.03 [北新田] 牝(1) 電柱から飛去
中野久夫
- 07.03 [北新田] 材効(1) 電柱から飛去
中野久夫
- 07.03 [北新田] カコウ(1) 河川敷樹上
中野久夫
- 07.04 [泉] 牝(1) 声 志賀鉄雄
- 07.04 [泉] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 07.04 [泉] ヲウゲンボウ(1) 林の上を西へ飛
翔 志賀鉄雄
- 07.04 [泉] サバ(1) 声 志賀鉄雄
- 07.04 [泉] サコヲヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 07.05 [岡発戸新田] 牝(1) 遠くより
鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 07.05 [片山新田] 牝(1) 水田の電柱上に
とまる 鈴木静治
- 07.05 [片山新田] ヲウゲンボウ(1) 水田の電
線にとまり、すぐ飛び去る 鈴木静治

07.05 [手賀新田] ハブサ(1) 鉄塔上部にと
まる 鈴木静治

07.06 [北新田] カッコ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫

07.07 [大井新田] 材効(1) 上空でカラス
に絡まれる 鈴木静治

07.08 [泉] 朴棧(1) 鳴きながら飛ぶ
志賀鉄雄

07.08 [布佐平和台] 朴棧(1) 自宅の近
くで囀る 鈴木静治

07.08 [布瀬] 札(1) 囀り 志賀鉄雄

07.10 [布瀬] 札(1) 囀り 志賀鉄雄

07.10 [布瀬] サコフヨウ(1) 囀り 志賀鉄雄

07.10 [布瀬] ハブサ(1) 鉄塔上部にとまる
鈴木静治

07.11 [片山] 朴棧(1) 13:12、鳴きなが
ら林を移動 飯泉仁・飯泉久美子

07.11 [片山新田先手賀沼] 朴棧(1)
12:50、南側の谷津田方向から鳴き声
飯泉仁・飯泉久美子

07.11 [北新田] 外洋(2) 越流堤池から飛
立 中野久夫

07.11 [布瀬] フョウノウ(1) 電柱より農道
に降りる 鈴木静治

07.11 [布瀬] ハブサ(1) 鉄塔上部より川面
向け急降下する 鈴木静治

07.12 [布瀬] フョウノウ(1) 水田上空を飛
ぶ 鈴木静治

07.13 [北新田] カッコ(1) 河川敷樹上
中野久夫

07.13 [中峠] ヒ(2) 水田の電柱、電線に
とまる 鈴木静治

07.13 [中峠] ハブサ(1) 上空を飛ぶ
鈴木静治

07.13 [古戸] 朴棧(1) 鳴き声が聞こえ
る 鈴木静治

07.18 [北新田] 朴棧(1) 河川敷で鳴き
声 中野久夫

07.18 [千間橋] フョウノウ(1) 水田上を飛
ぶ 鈴木静治

07.20 [北新田] 材効(1) 越流堤横柳上
中野久夫

07.20 [北新田] 外洋(2) 4号排水路で
中野久夫

07.20 [千間橋] フョウノウ(1) 川の堤防よ
り飛び立ち水田の農道に降りる 鈴木静治

07.20 [手賀新田] ヒ(1) 川上空を飛ぶ

鈴木静治

07.20 [手賀新田] フョウノウ(1) 水田上を
飛び電柱にとまる 鈴木静治

07.20 [布瀬新田] ハブサ(1) 鉄塔上にとま
り休む 鈴木静治

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオバズク、アジサシ、アマサギ、
イソシギ、ウグイス、エナガ、オオタカ、オ
オバン、オオヨシキリ、オナガ、カイツブリ、
カッコウ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カ
ワラヒワ、キジ、キジバト、キビタキ、キン
クロハジロ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、
コゲラ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、
コヨシキリ、サシバ、サンコウチョウ、シジ
ュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、
ダイサギ、タマシギ、チュウサギ、チュウシ
ャクシギ、チョウゲンボウ、ツバメ、ツミ、
トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシ
ボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒバリ、ヒヨ
ドリ、フクロウ、ホオジロ、ホトトギス、ム
クドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ヨシゴイ
計 58 種

< 番外種 >

アイガモ、カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	3
飯泉仁	410
飯泉仁・飯泉久美子	128
志賀鉄雄	136
志賀洋子	3
鈴木静治	430
鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫 ・間野吉幸・蒲田知子・金子雅幸	16
鈴木静治・蒲田知子・間野吉幸 ・池田日出男	14
鈴木静治・田中恒雄	1
鈴木静治・金子雅幸	1
鈴木静治・船津登・松田幸保	3
鈴木静治・吉田隆行	1
染谷迪夫・木村稔・田中功	21
中野久夫	33
間野吉幸	65
総計	1011

(浅井 久)

日本で一番小さくヒヨドリ大のタカで、雄は赤目、雌は金色の目を持ち、森の中を敏捷に飛び、巣に近づくカラス、人をも攻撃し、繁殖期には雄雌でピョーピョピョと鳴き交わすツミに興味を持ち、春の渡りで近くの公園に飛来したツミを、桜の咲く4月から初夏の6月まで番形成、巣作り等を5年間観察しましたので、以下に報告します。

観察経過

私が最初ツミを見、興味を持ったのは、2008年4月末に本会会員の大塚さんより近くの公園のツミが巣を作ったと教えられましたので、早朝見に行きますと、赤い目の雄が公園の周囲の家のアンテナに止まり、金色の目の雌がケヤキに作った巣で抱卵していました。この年の4月末のケヤキは若葉が生い茂り、僅かに葉の間から巣が見え、金色の雌の鋭い目が見えました。雄雌で目の色が違うことにまず興味を惹かれました。前年の2007年は同じ公園のコブシの木に巣作りをし、子育てにも成功したそうです。2008年は鳥好きの人が連日観察に行きましたので、子育ては上手くいかなかったようです。

2009年は別の公園のクスノキに営巣しました。4月はじめ公園近くのムクノキの大木に雄又は雌が止まっているのが見られるようになり1~2週間後には番になり、5月中旬に営巣し、6月中旬には巣の中に白い羽毛の可愛い幼鳥が3羽動いているのが見られました。7月初旬には茶色になった幼鳥が1羽ずつ巣から飛び立つのが確認できました。3羽とも巣立ち成功です。この年は観察者が殆ど無かったのが良かったのでしょうか。

2010年は4月はじめに前年と同じ公園のクスノキで営巣しかかりましたが、ここでは営巣しませんでした。

2011年は4月初めに番となり、同じ公園のクスノキに営巣しかかりましたが、早朝雄雌が電線に止まっていると、散歩の犬が急に吠えたため、驚き飛び立ち、この公園には営巣しませんでした。近くの公園の松の木に営巣したようです。近くの公園のポプラの木や電線に止まっているのをよく見ました。この時は6月末に幼鳥が巣立ちました。公園の繁みの木の枝で親鳥雌が幼鳥に獲物の小鳥を与えている様子がよく見られました。

2012年はどうでしょうか。4月初め上空を滑空するのが見られ、番になり、同じ公園のクスノキに5月初めまで営巣しましたが、何の原因か判りませんが、突如巣を放棄しました。それとともに近くで見られたオナガも見られなくなりました。数日後近くの公園の森で鳴き声がしますので、探してみますと大木の枝に雄雌がとまり獲物の小鳥を食べている様子が見られました。この状態が1週間ほど続きましたのでホッとここでまた営巣していると考えていました。ところが、数日後近くの地面にいるオナガを攻撃するツミ雌を見ました。色々な本には、オナガは攻撃しないとの記述がありますのでビックリしました。営巣放棄と関係しているかもしれませんが、「営巣放棄」、「オナガを攻撃」は柏でツミを観察されている本会会員の飯泉さんも報告されています。

その後、雄が、又は雌が森の大木の枝にとまる様子が見られましたが、6月中旬以降は見られなくなりました。今年は幼鳥も見えていませぬので、繁殖失敗かと考えています。

ツミの特徴

鷹のなかでは一番小さくヒヨドリ大で、雄は目が赤く胸から腹はオレンジ色で、雌は目が金色、胸は白地に褐色の横縞模様で、雌は雄より大きい。本州以北の林に繁殖し、秋冬は西日本で見られます。東南アジアにも分布します。幼鳥は胸の太い褐色の縦縞がありますので成鳥との区別は簡単です。白樺峠の鷹見でも見られますので東南アジアまで渡るのでしょうか。渡り先はよくわかっていないようです。ツミは高い声で「ピョーピョピョ」と鳴くので繁殖しているとすぐわかります。

もともとは林に棲んでいましたが、1980年代に関東地方で市街地の小さな公園や学校の植樹で繁殖するツミが増えていきます。住宅地は林地に比べ予想以上に小鳥(スズメ・シジュウカラ・カワラヒワ・メジロ・ヒヨドリ・ムクドリ等)が多く、ツミはこうした小鳥の巣立ち難を

格好の餌食にしています。ツミは非常に速く飛び、中央の足指が非常に長く、どの指にも指だこが発達していて、捕らえた獲物は逃がしにくくなっています。

エピソード

1、桜の咲くころ現れ番になり、巣作りをします。メジロ・ヒヨドリ等甘党の小鳥が桜の花の蜜を吸いに集まるのを知り、獲物としているのでしょうか。電線のツミと桜の花は写真の被写体として面白いと思います。

2、森林・都市はハシブトガラスが、農地はハシボソガラスが制空権を掌握していますが、ツミの繁殖期には、巣の周辺 50m をカラスから徹底的に防衛します。この時期よくカラスを高速で追い回すツミを見ます。

3、また虎の威を借りる狐のごとく、ツミの威を借りるオナガが見られます。ツミの巣の周辺 30m に数番のオナガの巣が見られることがあります。この範囲はツミの制空圏内のためオナガの繁殖もうまくいくようです。ツミが巣立つまではオナガも見られますが、それ以降は急にオナガが姿を消します。

4、ツミはフィールドスコープで見ると嘴の鋭さ、指の爪の長く鋭いのが見えます。あれで引っ掻かれたらと、また雌の金色の目で睨まれるとゾッとします。写真家がフクロウの巣を観察の最中、襲われ大けがをし、ほうほうの体で逃げ出した話を思い出します。ツミの場合雌が抱卵している時は雄が見張り、人でも後ろから人の頭スレスレに低空飛行し警告します。私も警告を受けたことは数回ありますが、非常に速いので一瞬何が起こったのか分からないことがあります。少しすると事情が判り逃げ帰ることになります。もし逃げない場合何度もバック攻撃をうけることになります。この状況は大久保さんの「ツミの恐怖体験」会報 2008 年 7-8 月号に掲載がありますので参照して下さい。

5、観察する場合、鳥から見えない場所で短時間に観察を済ませ、親鳥にストレスを与えないよう注意が必要です。不思議なことに散歩している人は攻撃されません。

6、鳥見の人は双眼鏡、スコープ・三脚で長い間見るので、鳥は鉄砲で狙われていると思うのかもしれないね。鷹の目は望遠レンズになっているのと、カメラ・照準計は焦点を合わせるための光線を出しているの鳥は敏感に感知している可能性もあると思います。

布佐地区に 6 年連続で巣作りし、子育てに 3 回成功し、3 回失敗したツミを、来年も飛来してくれれば、桜の咲く頃から初夏まで温かく見守ろうと思っているこの頃です。(以上)

参考文献：ピッキオ編著 鳥のおもしろ私生活 主婦と生活社

上田秀雄、叶内拓哉 2009 声が聞こえる！野鳥図鑑 文一総合出版

新会員紹介：丸嶋紀夫（市川市）

ご寄附：山野辺伸作さんよりご寄附を頂きました。厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No. 228 (2012 年 9 ~ 10 月号)

発行 2012 年 9 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務所 270-1154 我孫子市白山 3-8-16-104 間野方

連絡先 277-0005 柏市柏 1001-5 野口隆也 Tel 04-7163-7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円 (大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)